



「広島百周年文壇」

発行所 広島市南区

広島支部長 石井 寛二

去る、七月十五日・社友会本部より太田会長・吉江副会長、会社側より・通信オーディオ事業本部・佐治取締役本部長をはじめ多数の方々のご出席を賜り、盛大に社友会広島支部の結成総会を開催することが出来ました。

私達、広島地区の社友会会員は社友会本部での会合には、時間的・経済的な制約があり参加出来にくい場合が多く、この度、本部社友会の役員・会社幹部・労組の方々のご尽力により社友会広島支部が発足することになり、念願しておりました地区内での社友会活動が出来ようになりました。

これも、通信オーディオ事業本部の方で立派な社友会専用の部屋まで用意して頂き会員一同感謝致しており、早速設立総会翌日の七月十六日より支部活動のため利用させて頂いております。

この広島支部は、通信オーディオ事業本部定年退職の方々が中心になっておりますが、私のように他事業本部の職場に所属退職した者でこの広島支部に属したほうが便利な方にも加入して頂くように願っております。私達は定年迄、長い年月を会社にお世話になり同僚として苦楽を共にした思いを大切にして、会員相互の親睦を図り同好会の活動を中心に楽しい交流の場としたいと思います。

今後、広島支部結成に非常に努力された山田代表幹事を中心に活動して参りますが何分にも経験不足でもあり、本部の諸先輩栃木支部の方々、更には会社の皆様のご指導・ご協力をお願い致します。

社友会の精神を胸に抱き全力を挙げて支部の運営に当たります。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。



祝シャープ社友会広島支部結成

シャープ社友会広島支部結成記念 於 通信オーディオ事業本部 1993. 7. 15

八月二十二日付で、色々お世話になった山口総務部長が電化システム事業本部へ転出され、後任には七月十五日の広島支部発足当日、会長・副会長と同行された本社総務部・松本副部長が総務部長として来られることになりました。

偶然の事とは言え、何か大い糸で結ばれていた様な気がします。これから、何かとお世話頂くことになりませんが、よろしくお願ひします。

「社友会広島支部」
発行所 広島市南区

社友会・会長 太田 諄一

社友会が結成され、満十三年を経過した本年四月「第十四回総会」で、永年会長をされました、古藪先輩から会長職をバトンタッチすることになりました、その直後広島、在住の社友会会員による広島支部を結成したいとの申し出があり。

既に、昨年末以来、会員の方々に支部結成の主旨・運営方法等も検討された内容も同時にお聞きしましたが・・・

支部結成となると役員（幹事）も総てボランティア活動でもあり必要経費等を考慮すると現在の会員数では実質的な運営は難しく・・・率直に言って支部発足は少し先送りした方が良いでしょう、とも感じましたが、広島社友会、各会員の熱意と会社・事業本部の支部結成に対する好意あるバックアップにより、平成五年七月十五日広島支部結成総会を開くこととなり、同日支部発足となったことは誠に、ご同慶に存じます。

総会には、副会長と共に同席しまして広島支部社友会会員各位の熱意、今後の運営に対する、心意気を感じると共に、会社・事業本部に於ては、総会のための会場準備はもとより社友会室も既に準備いただいたりしている等、社友会をバックアップ願っている現状を知り、非常に心強く感じますと共に事業本部、各担当の方々に、お礼申し上げます。

本年四月の総会時にも話していますが、十三年前社友会発足時、五十数名であった会員も現在約五〇〇名に近い会員となり組織が拡大しています。

今後の増員がどうなるかを予測しますと、会社の発展期であった昭和三十年頃から、計画的な人員採用がされている関係から、来年度からは年々一〇〇名を超える定年退職者があり、社友会に入会されるとすれば今後数年間急速に会員が増えることが予想されます。

但し広島に事業部が展開されたのが、昭和四十二年である関係で、社友会・広島支部としての会員の増加は多くは望めない状況にあります。

当面、現状での運営となりますが発足時の熱意を継続願ひ有意義な支部運営を展開されることを期待します。

話は変わり、現在男女の平均寿命は八十歳前後・定年六十歳での社友会会員は平均寿命から見ても・青年期・・・

会社を定年退職された挨拶状を戴く文面の中、各人のキャリアによって内容は異なりますが、結びの言葉に表現の差はあっても、

「今後、有意義な人生を送りたい」と受け止める言葉があり、私自身も同様の挨拶状を送った記憶があります。

扱、「有意義な人生」とはを考えてみますと・・・

何と言っても前提条件は、健康であり、会社定年時はまだまだ若いと書きましたが社会的には高齢者の分類の中に入っていることでもあり、体力の低下・老化現象の防止を心掛ける必要があります。

更に家庭（家族）の円満も必要条件の一つだと考えますが、これ等総てに、満点を取ることはまず不可能なのが人生・理想と現実の差からストレスが生ずると

すれば、これをいかに上手に解消するか
課題となります。

その他、有意義な人生を送るための条件
は各人により異なった道があると考えます
が、体力低下と、老化現象を少しでも防止
する心掛けが有意義な人生にも繋がるポイ
ントでもあると考えます。

この論法が是とすれば、話は元にかえり
・ ・ ・ お互いに定年まで同じ会社の中で勤
務した同志でもあり会員相互の親睦の中、
趣味を生かし情報交換と会話の中に前向き
な人生観を見つけ出すのも有意義と言える
のではなからうか。

社友会広島支部の発足・会員各位の前向
きな発想の中で会員の親睦を計られ、パッ
クアップして戴く、事業本部との協調のも
と、社友会の今後の運営がみのあるもの
と成られるよう、期待しつつ筆を置くこと
にします。

「広島支部の発展」
「先ず是を以て」

私たちが広島在住の社友会会員は、今まで
本部の行事には時間的にも費用の面でも、
又、集合時間によつては前泊せねばならず
仲々参加することができませんでした。

栃木には既に支部があり私たちも早く支
部を作りたいと考えておりましたが、昨秋
社友会本部懇親会で幕張ビルを見学して、
その壮大さにびっくりし立派な社友会室も
用意されているのを見て、東京にも近い将
来支部が出来るものと思いつつ帰って来ま
したが、この際広島にも支部を作ろうとい
う機運が俄に盛り上がり昨年十一月三十日

有志六名で第一回会合を持ちました。

早速、初代支部長として石井元常務にお
願いしましたところ、快く引受けていただ
き、先づは順調にスタートし今年一月十九
日に在広会員が通信オーディオ事業本部に
集合した際、支部結成について満場一致で
賛同を得て、いよいよ本格的に活動を開始
しました。

通信オーディオ事業本部山口総務部長・
伊藤課長を始め、多くのみなさんのご協力
を頂き、本社労務部との交渉、社友会室の
設置等、すべて円滑に進めていただき、そ
の間私たちは社友会本部の了解を得るため
会則・細則・運営要領等の作成に精力を注
ぎました。

社友会本部では、会員数もまだ少なく経
費面で運営していけるかとの危惧もあつた
ようですが、先づ発足して実績を作り、運
営はその後で対応して行く事とし会合を重
ねました。

四月二十八日に信貴山で平成四年度社友
会本部総会が開催され、幹事揃って出席し
会長に状況を説明するとともに、総会終了
後本部役員の皆様と設立について意見交換
の結果、支部結成へのご賛同をいただきま
した。

又、六月二十九日に上阪される石井支部
長に、広島支部結成総会当日に、太田本部
会長、吉江副会長の来広をお願いしてい
たできました。

事業本部のご厚意で設備の充実した社友
会室も完成し、これで支部結成への準備は
すべて整いました。

そして七月十五日 通信オーディオ事業
本部・佐治本部長、社友会・太田会長・吉
江副会長、労組山本副委員長をはじめ多数
の方々、在広会員出席のもとに広島支部

が無事発足することができました。

思えば支部結成への活動を開始してより
八カ月、関係の皆様方のご理解と、あたた
かいご支援と、ご援助によるものと感謝し
ております。

この間、私たち幹事も会合を重ねること
二十数回、ひたすら支部作り而努力して参
りましたが、この喜びは一入のものがあり
ます。

七月二十六日には幹事一同で福山工場、
広島市内中国統括営業部・関連各社を訪問
し、支部結成の報告と将来定年退職される
方への入会説明方をお願いしました。
対応された皆さんも社友会の存在をよく
ご存じて関心をもつて説明を聞いて頂きま
した。

私たちの支部は今のところ会員数も少な
くまだその著しいばかりですが、こん
ご会員数は年々着実に増加して行きます。
各種、同好会を設置し具体的な活動はこ
れからですが、会員相互の交流と融和を図
り、活力のある支部にするために更なる努
力が必要です、今後、会員の皆様の積極
な各種行事への参加と、ご提案ご協力をお
願い致します。

代表幹事 山田 順

「広島支部の発展」にあたって

社友会広島支部設立に当たっては、社
友会の先輩・会社幹部の方々のご理解
とご盡力により、本年一月の支部会員の
賛同を得て結成準備委員会を発足させ、
委員会を二十数回開催して関係部門との
折衝・会則作成等、各種準備のうえやっ
と産声をあげることが出来ました、独り
立ち出来るには支部会員の皆様の何より
の協力が必要です。社友会室も環境のよ
い場所に、色々な備品・什器を手配して
頂き、又、結成総会はこの日のために改
装して頂いた会場でと、何から何まで会
社のお世話になりました。

扱、これからの社友会広島支部は、会
員の親睦と協調により、積極的に活動を
進め会社にも少しでも寄与出来る様努め
たいと思ひます。

◎ 広島支部の発展

皆んな素人ばかり読みにくい・誤字・
脱字等あるかと思ひますが、ご勘弁を願
います。今後、新しく入会される会員の
方のためにも楽しい支部会報にしたいも
のです。

◎ 原稿募集――随筆・旅行記・川柳・
俳句・エッセイ・その他、広島支部会報
をより良いものとするため皆様方の、投
稿をお待ちしております。

広島支部 広報担当係宛

◎ 「会費精報」名簿修正願ひます。

- ☆ 住所変更 藤井 次郎氏
- ☆ 新住所 安芸郡海田町稲荷町三十二
- ☆ 社友会番号新設 小幡 友幸氏
- ☆ 会員番号 五四九

◎ △云報報夕石「ひびき」について

辞書によると「ひびき」とは・・・
音響・こだま・傳播する振動とある。
この広島支部会報で、皆さんの元気
な声を響かせ、いきいき元気が傳播す
る事を祈っております。



「百才正士」かした
同好会

去る七月十五日、広島地区会員である、私共が永年の念願にしております「シャープ社友会・広島支部」の結成総会が盛大に行われました。これも会社をはじめ、社友会本部の幹部、また労組幹部の方々のご理解と、ご支援の賜物であります。

扱、広島支部の組織活性化を図る為に皆様方のご協力を頂き、活気溢れ来しめる同好会を、数多く作っていきなれと思っております。現在のところ、同好会として五グループを設定しましたが、よりよいグループ設立のご提案がありましたら社友会事務局までお知らせ下さい。

当支部では本部社友会にないワイプロ教室・釣りクラブ等もあり、全会員が出来るだけ数多くのクラブに入会されることをお勧めします。今後広島支部社友会の会員各位の親睦を高め更には各人の卓才を生かし組織の活性化を図るため、皆様方の力強いご協力をお願い致します。

同好会・統括幹事 新田 保
「ゴルフ同好会案内」

念願の社友会広島支部も結成され、会員相互の親睦をより深く、健康と体力増進のため、白球を思い切り青空と緑のグリーンに向け飛ばし、ストレス解消！ 会員の皆様の入会を、お待ちしております。

ゴルフ同好会幹事 片桐 懸二

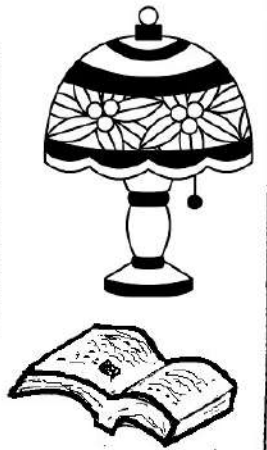
「囲碁」

- ① 囲碁は品よく、三昧の境地に没入できる。
- ② 知的な遊びで、生活観が変わる。
- ③ 集中的に物事を考え、大局観が育つ。
- ④ 囲碁は何事にも筋道を立てて、じっくりと考える癖をつける。
- ⑤ 人間の生き方を、教えてくれる。
- ⑥ 囲碁は芸術であり、無限の創造性をもつ。
- ⑦ 囲碁は手によって交わされる語らいで心の友が得られる。
- ⑧ 負ける悔しさが、人間を造る。
- ⑨ 囲碁は経営管理に携わる人の、資質向上に役立つ。
- ⑩ 囲碁は頭の体操となり、若さを保つ事ができる。

囲碁は、高尚な趣味であると同時に大局的見地より物事を判断する能力が身につく無限の創造性を養うことができる。

囲碁を覚えることにより、下手は下手なりに、頭の体操（リフレッシュ）ができ生涯楽しむことができる、同じ趣味を通じ心の友を作ることができ、いっまでも若々しい柔軟な頭脳の維持のため、貴方も囲碁を始めてみませんか、会員の方の入会をお勧めします。

囲碁同好会幹事 小島 武重



「図書同好会」

暑い夏(?)が過ぎ灯火親しむ読書の秋となりましたが、皆様お元気で過ごしのことと存じます。

加齢と共に低下するのが体力と脳細胞の働きです、老化を少しでも遅らせるためにも、いきいき生活を心掛けることが何よりと考えます。

精神的な健康を保つためにも読書の習慣が役立つと思われれます。ですから定年後も「読む・書く」事を厭わずこれを続けることが「ボケ」防止になるのではないのでしょうか。

さて最近各地に生涯学習の環境が高まる中、図書館の充実がなされ、当、東広島市にも中央図書館(仮称)が来春開館に向け準備中と聞いております。

現在当地で利用できるサンスクエア図書館や労働組合広島支部図書室にお出掛けいただければ、手軽に図書の貸出がさせていただきます、ぜひご利用をお勧め致します。

まずは読書を通じ知識を広め、交流の同志を募りたく会員各位のご参加をお待ち致しております。

同好会では新刊書の紹介、書評などを取り上げ、追々、出来ますれば皆様の蔵書などを寄付いただき、社友会図書室に発展させることを願っております。

図書同好会 阿川 忠亮

「海が呼んでる」

魚釣りはやさしく誰にでも手軽に楽しめる趣味です。食わずぎらい釣り嫌い、なんでもやってみないことには話にならない。

「釣道具を作る楽しみ」

シカケ作り、糸やウキ、おもり、釣針、釣る対象魚によって大物用・小物用の組合せが楽しめる。

「記録を残す楽しみ」

自分で釣った魚数、大きさを記録にとどめる方法には写真と魚拓があり、日時・場所・仕掛け・餌・現認者等を記録「白黒でカラーで写真、又は魚拓作りで楽しさ倍増」タバコの箱などで、魚の大きさ、数を表す方法などがあります。

「獲物を料理して食べる楽しみ」

趣味と実益を兼ね、ことに海釣りで釣れる魚はほとんど食べられます、海釣りの好きな人の中には、新鮮な魚が食べたいため釣りをする人も少なくありません。

「まず挑戦」一度やってみなさい。会員の入会をお待ちしております。

釣り同好会幹事 木船 久

「同好会案内」

| 同好会名 | 開催予定日 | 幹事 |
|------|---------|----|
| 囲碁 | 毎週・月曜日 | 小島 |
| ワイプロ | 第1・3水曜日 | 中尾 |
| 魚釣り | 毎月・1回 | 木船 |
| ゴルフ | 年・4回 | 片桐 |
| 図書 | 随時 | 阿川 |
| カラオケ | 検討中(※) | 新田 |
| 音楽鑑賞 | 検討中(※) | 新田 |

※印 希望があれば設置検討します。

「ワープロって何だろ？」



一、だれにでも美しい文章が作れます。
紙と鉛筆の変わりにキーボードとディスプレイを使って文章を作る機械が「ワープロセッサ」(略してワープロ)です。
ワープロを使えば、どんな人でも、美しく読みやすい文章が作れます。

二、訂正が簡単です。

誤字・脱字の訂正、前後の文章の入れ替え・・・手書き文書を訂正すれば消書が必要ですが、ワープロなら、どんな訂正も簡単にできます。

三、大量の文書も「バック」に保管できます。

三・五インチのフロッピーディスクにはA四の文書が約二百枚保管でき、必要なきには、いつでも簡単にワープロから呼び出すことができます。

四、図形や表を取り入れる

文書の中で作表したり、表計算機能があり、最新の機種では、ペン入力・編集・他の印刷物などの図表を読み取り、文書画面と一緒に編集する。

また、いくつかのプロックに分けて文字をレイアウトするなど自由に行え、多色プリントが出来る機能の商品があります。

ワープロ同好会での学習を通じ、生きがいや感性・創造性を磨き、いつまでも若々しい頭脳と、精神を維持するため、ワープロ同好会で、指先トレーニングを一緒に致しませんか！

(毎月・第一・第三水曜日 午後一時～午後三時迄の二時間 於・社友会室)
ワープロ同好会幹事 中尾 勇



「釣りの日同好会」 豊田 義光

去る、七月三十一日釣り同好会として倉橋島沖へ、八名の有志で船二艘を仕立て意気揚々と出掛けました。

天候は薄曇りで、絶好の釣り日和となりキス・ギザミ釣りを目的に、早朝四時三十分会社前を出発、船は五時半出港し午後三時頃まで大きな獲物を期待し作業を行う。

当日の餌は石ゴカイを使用し、手釣り、成果は各人ばらばらですが、最高の成果を上げた人は四十匹は確実と言う、結果的に当日の成果は次の通り、

キス・約二十五匹・殆どはギザミで、その他メバル、等々があり、総成果として百五十〜百八十匹の大漁・欲を言えばもう少し大物があれば・・・でも、今回の大きいもので二十cmぐらいは充分あった。

私は船釣りは新米それでも十〜十五匹の成果があったと思う、(少し船酔いで無人島へ・約一時間のロス)今回は超大型はなかったが、非常に楽しい一日を過ごさせて頂きました、次回は磯釣りを計画中だそうですね、多くの皆さんの参加を期待しております。

T・N 記

「随筆」

「定年(休年)」

退職して一年足らず、何年も前に退職した様な気がする、一時休暇で休んでいる様でもある、とは言いつながら毎月職安通い、あと数回で職安とも「さようなら」だ、職安に通って感じることは、昨年末から職安通いの人が月々増加している様に思える、特に若い女性と、五十歳前後の男性が多くなっている。

景気が不安定で、生涯を掛け働いていた会社を離れ、他の就職先を探す人・新しい職場で働こうとした人、この様子を見ると今までシャープで仕事が出来たことを喜びたい。

会社勤務のお陰で、全国各地で知り合った人、夜遅く迄取引店の開拓に走り廻った事、先輩・同僚との色々のエピソードや苦しかったこと、楽しかったことがふーっと思い出される。

昔を思い出すのは、やはり年のせいかな、老け込むのはまだ早い、「人生五十年、下天は夢」かでは早すぎる。

これだから我が人生、あれもしたい・これもしたいで、結果！三日坊主で若いときと同じだ、今までより多少時間に余裕が出来たのだから三日坊主に終わらない何かをものにしたかと思いついて過している。

何をすることも健康第一、毎日を元気に、「濡れ落ち葉」にならない様に前を見て行く、前ばかり見ていると今どきは大変なことになる、「振り向けば、君が居らず」独りぼっちにならないように心掛け努力したい。

これから年々、増加する定年(休年)退



職者、全員加入の社友会に広島支部を発展させたい。
昔を語り合える友のいる会として、大勢の会員の皆さんと共に、いつまでも見守って行きたい。

K・K 記

「随筆」

「広島同好会又開催」

七月十五日に会社と社友会本部の、ご支援をうけて社友会広島支部が、発足致しました事は、中国地区の社友会会員にとっては誠に喜ばしいことでもあります。

在職中は、公私共に交流があっても退職すれば疎遠になりがちですが、支部が出来ましたので、又、以前と同様に多くの方と交流が続けられる様になり、又、その輪が広がって行く事でしょう。

支部ではすでに同好会も出来まして、趣味を通じての楽しみも増えて、これからは余った時間を有効に活用し健康で明るい生活を送る事を願っております。

趣味と言え、自分自身は何の趣味を持っていてるか、自問自答してみたらあまり趣味らしいものが無いので困ったと思っておりますが、これからは何か一つ丈でも本気で取り組んで見ようと思っております。

会員の皆様よろしくお願致します。

松岡 良明 記

